



## 恭賀新春



新年明けましておめでとうございませぬ。

皆様には御健勝にて新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

インフルエンザやノロウイルスが暴れています。皆さんは大丈夫でしょうか。今は大丈夫でも、油断大敵。用心に用心を重ねてください。

さて、昨年は「健康カフェむすび」と「川上施術センター」を新設いたしました。一階の診療域ではバタバタとせわしない状態で、ゆっくりとお話を伺えない毎日となっております。申し訳ないと思っております。その分2階でホッと癒されてもらえればというつもりの新設でもありました。2階を利用された方の感想は如何でしょうか。まだ利用されていない方は一度是非のぞいてみてください。

ところで、一階のバタバタしていること、言いつけてもいます。患者さんお一人の診療時間はだいたい4〜5分平均です。どれだけ頑張っても3分では無理です。3分ですと1時間に20人の方の診察が出来ますが、今はだいたい10〜15人（本々6分）が目いっぱいです。しかも、これを実現するために、は衣服を脱いだり着たりする時間を節約するために私がバタバタと診察場所を移動しなければ

なりません。手塚治虫さんの何かのマンガでは一番ダメな医者として描かれています。

ゆったりとお話を伺い、お一人にせめて10分時間をかけられれば良いのですが、お一人10分かかりますと、1時間で6人、3時間で18人になり、とても時間内に終了することはできませんし、待ち時間が長くなってしまいます。

また、午前の診察終了後、大腸内視鏡、しばらく休憩して、その後訪問診療。そして3時から午後の診療という日も多くあります。午後の診察終了後、7時とか7時半から勉強会、研修会をはじめ様々な会議などが控えているなど、診療終了後の予定が立て込んでいことも時間をかけられない理由になっていきます。

以上、クドクドと言いつけてきました。このバタバタの理由を是非ご理解していただき、お許しを願いたいと思っております。もし、私にたくさんのご意見を伺いたいことがある場や、初めて来られて病気の経過が長い方や、調子が悪くなっている時間が経っている方などは、メモに書いて来ていただけるととてもありがたいです。

昨年はイギリスのEU離脱、アメリカ大統領にトランプ氏が当選、中国の東シナ海進出、北

朝鮮の原爆実験、中東・アフリカでの戦争、各地のテロなど、穏やかならぬ状況がたくさんありました。私どもの日本は比較的落ち着いているように見えましたが、少子高齢化の名のもとに、社会保障は年々抑制されていくのは確かなことのようにです。どのようなことになるのか、充分注意を配り、自らを守るべく健康に留意していきましよう。

さて、皆さんは今年の目標はもうたてられたでしょうか？私は昨年一つの古道しか歩けなかったのですが、今年は何とか2ヶ所は行きたいと考えています。深坂古道と東浦から府中に抜ける塩の道です。また腰痛を起こすと困るので慎重に行く道を選択しようと思っています。

皆さんも何か目標を立ててくださいね。本年一年が皆様にとって大過なく穏やかな年であることを祈りつつ新年のご挨拶といたします。

川上医院 院長 川上 究



木の芽峠入口にて

## 地域の歴史「氣比神宮の編」

皆さんはもう初詣に行かれたでしょうか。初詣といえば敦賀では氣比神宮ですね。今回は新年特別号ということで、氣比神宮のことを書いてみたいと思います。

参考は氣比神宮発行の御由緒、参拝案内と敦賀市発行の敦賀市誌から引用しました。伊奢沙別命（いざさわわけのみこと）、中哀天皇（ちゆうあいてんのう）、神功皇后（せんくこうごう）、日本武尊（やまとたけるのみこと）、玉姫命（たまひめのみこと）、武内宿禰命（たけのうちのすくねのみこと）、以上七座が主祭神となっております。また、境内神社としての角鹿神社、大神下前神社、兒宮、猿田彦神社、神明社。さらに九社之宮として、伊奢沙別命の御子神三神社を含めて九つの神社があります。それぞれ詳しく述べることはできませんが、ぜひ氣比神宮にお参りをした際には、願い事ばかりするのではなく、御由緒 参拝案内を持ち帰り読んでください。

なかなか興味深いことが書いてありますよ。さて、主祭神七座についてですが、日本武尊は中哀天皇の父ですし、玉姫命は神功皇后の妹です。武内宿禰命は謎の多い人ですが、神功皇后、応神天皇と行動を共にしていることが多く、大番頭か総理大臣といった役割で、あり得ないことですが300歳という長寿で有名です。即ち伊奢沙別命（氣比大神）以外、血族、親族の関係者であり、言い方を換えれば、応神天皇の父、母、祖父、

おば、守り役ということになります。

応神天皇は元々誉田別命（ほんだわけのみこと）といい、伊奢沙別命と名前を換えるという説話が伝えられています。このことに関する神事が氣比神宮にて伝えられており、近年途絶しているか？、名前を換えるとはどういう意味なのか？ 諸説あり、興味の尽きないところか？ ひとつとして別（わけ）という表現が共通なので、誉田別命と伊奢沙別命は血族、親族ではないかと考えてしまいます。

また、日本武尊は日本武天皇、神功皇后も息長帯天皇と記されている書もあり、そうすると、4人も天皇が神として祀られていることになり、血、親族と近い関係の人々が祀られているというのは非常に珍しい神社なのではないでしょうか。そして、ここところが氣比神宮のもつ歴史の意味が見え隠れしているように思います。

境内社の角鹿神社の御祭神は都怒我阿羅斯等命（つぬがあらしとのみこと）で、敦賀の地名の由来になっているとも言われています。敦賀駅前銅像が立っている。敦賀市公認キャラクターのツヌガ君のモデルになっている。都怒我阿羅斯等命（任那の皇子、新羅の皇子ともいわれている）は氣比神宮の司祭と当国の政治を時の天皇により任せられております。この一族は後々角鹿国造（つぬがのくにのみやつこ）、あるいは角鹿直（つぬがのあた）となり、この地域の長として続いており、子孫の方は現代まで連なっています。神社の歴史は仏教の伝来（神仏混合）、

明治維新（神社の統合、祭神名の変更）などにより様々な変貌をしたといっても、その地域の古い歴史を伺うことができるので、とても重要で興味深いものです。人口が減ったり、不況など様々な理由で神社が荒廃したり、神事がなくなってしまうということは、その地域の歴史が無くなってしまうに等しいことであり、できるだけ、それぞれの地域の神社が何とか続いていってほしいと最近思うようになりました。

神社同様、古道もその地域の歴史が現れており、古道に興味を持ったのも古い歴史を大切にしたいとの思いからです。また機会があれば続きを書きます。

究



敦賀駅前立つツヌガアラシトの銅像、旅行者を迎える。敦賀の地名の元になっている。

【発行】平成29年1月10日（木）

かわかみ通信 Vol. 8 新春特別号

医療法人 川上医院

福井県敦賀市松島町1-39

TEL 0770-22-0977